

- 2094 竹宮恵子「ジャバーウォックとお茶会を」(竹宮恵子『私を月まで連れてって!』2 (小学館, 1982年, FLビッグコミックス) p.5-30)

ジャニス・ウォーカー遊園地の鏡屋敷. 謎を解くことができたお客様は, 屋敷のコントロール室で, プログラマーのジャバーウォック氏 (仮名) とお茶会を.

「…なるほど、☆ジャバーウォックさんですね？」

☆ジャバーウォック = “鏡の国のアリス” に出てくる物語の怪物。

p. 25

- 2095 成田美名子『エイリアン通り』3 (白泉社, 1982年, 花とゆめ Comics)

「鏡見てるみたいだ…」

「？」

—— 鏡の国のアリス

p. 88

- 2096 萩尾望都「キャベツ畑の遺産相続人」(萩尾望都『キャベツ畑の遺産相続人 萩尾望都作品集10』(小学館, 1977年, プチコミックス) p.33-72)

3人の遺産相続人 (実は魔女) の所有する魔法書に, 以下の記載がある.

ボロゴーフはまことミムジイとなりて

モームラースもアウトグレイブす

p. 66

- 2097 日渡早紀『ぼくの地球を守って』1 (白泉社, 1987年, 花とゆめ Comics)

「ねえねえところで、どうして『亜梨子』ってつけられたの？」

「変わってるわねえ」

「でもかわいいよォ」

「あ…、母が…昔から『不思議の国のアリス』の大ファンで…」

p. 31

- 2098 めるへんめーかー『ふらいど・えっぐ・む〜ん』(白泉社, 1983年, 花とゆめ Comics)

アリスならぬ(「ひなぎく野原はいつも晴れ」(めるへんめーかー『永遠なる夢永遠なるめざめ』(秋田書店, 1987年, Princess Comics) p.105-131)で主人公のブルーデンスが語っているように, 「不思議の国に住む女の子はいつだってアリスとは限らない」(p.109)のである。ただし, アリスでないとも限らない訳で, 「ロールプレイング★ワンダーランド」(めるへんめーかー『永遠なる夢永遠なるめざめ』(秋田書店, 1987年, Princess Comics) p.133-156)では, アリスという名の少女がパソコン・ゲームのワンダーランドを旅する)ケイドリンとタリィの姉妹がワンダーランドを旅する物語。以下の4編からなる。

1. 「ふらいど・えっぐ・む〜ん」(p.5-28).
2. 「ふらいど・ちきん・さんでい」(p.29-59).
3. 「ふらいど・すぶりんぐ・どりーむ」(p.61-90).
4. 「ふらいど・ぼてと・ふらい」(p.91-120).